

Lecture 授業No.82 教科書P.138、133～

T.Q.「資本主義の始まりとはどういうものか？」

向出 研司：石川県立寺井高等学校
地歴公民科教諭

直前予習 T. A. キーワード確認

教科書 P.138

T.Q.「資本主義の始まりとはどういうものか？」

1. 産業
2. 国家
3. 重商主義
4. 商工業
5. 植民地

クリックで全て



今日の授業ラインナップ。

1. 絶対主義（絶対王政）の重商主義から資本主義へ
2. ハプスブルク家とスペイン
3. スペイン王国の全盛と衰退

4 近世諸国

T.Q.「資本主義の始まりとはどういうものか？」

教科書P.138、133～

☆ 絶対主義... 官僚制と常備軍で王権が絶対

☆ 王権神授説 ※1

☆ 重商主義

...初: 重金主義(征服によって金・銀を得る) ex. スペイン

→ 本格化: 貿易差額主義(多く輸出してもうける) ex. 英

∴ 国内産業育成と保護貿易

☆ 資本主義のめばえ

∴ 市民階級の成長... 初め王に協力

but まだ大商人中心(流通でもうける)

→ 問屋制家内工業で生産にも関与

→ 中産市民から工場制手工業の資本家が生まれる

(マニファクチュア) ※2

...やがて王に反発 ∴ 自由な経済活動を求める

1/2枚目のスライドはここまで!

→中産市民から工場制手工業の資本家が生まれる
(マニュファクチュア)

...やがて王に反発 ∴自由な経済活動を求める

——— 从这里

- ① スペイン... **スペイン=ハプスブルク朝** (1516~1700):分家
cf. オーストリア =ハプスブルク家:本家 ※3
- 1 **カルロス1世**__初代。神口帝を兼任(カール5世として) ※4
- 2 **フェリペ2世**(スペイン王のみに)__2代、全盛→失速
注:即位によってネーデルラントや北イタリア、
両シチリア王国がスペイン領に ※5
- 1571 + **レパントの海戦**でトルコに勝利 ※6
- 80 + **ポルトガルを併合**(~1640)し「**太陽の沈まぬ国**」に ※7
- but 旧教の強制で新教徒が国外逃亡 ∴商工業衰退
オランダ独立戦争でネーデルラント 北部を失う ※8

最後のスライドはここまで!

T.Q.「資本主義の始まりとはどういうものか?」 教科書P.138、133~ ※T. A. まとめスライドへ

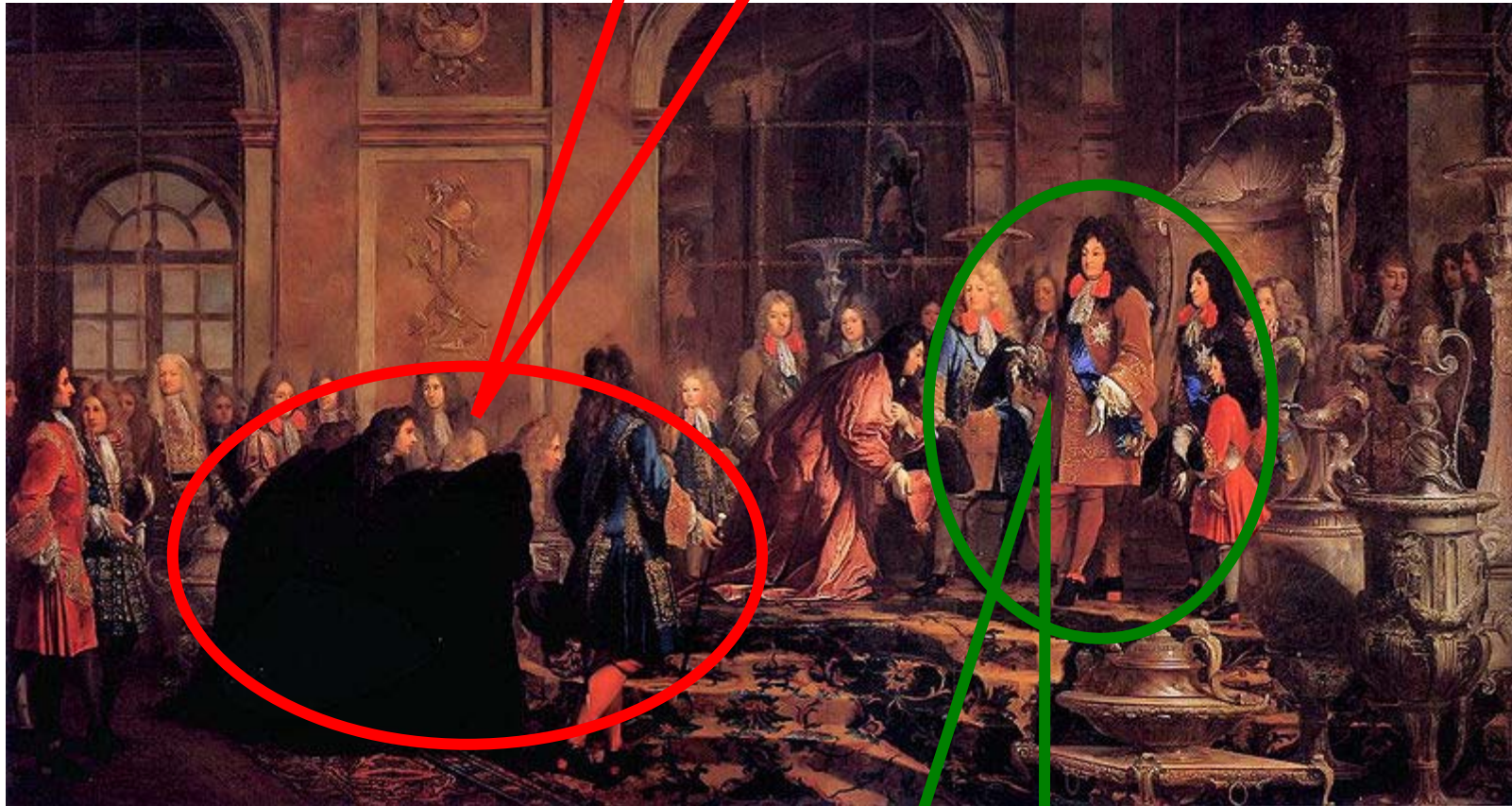
※ 1

クリック①:注目！

聖職者も王にひれ伏す

王権神授説

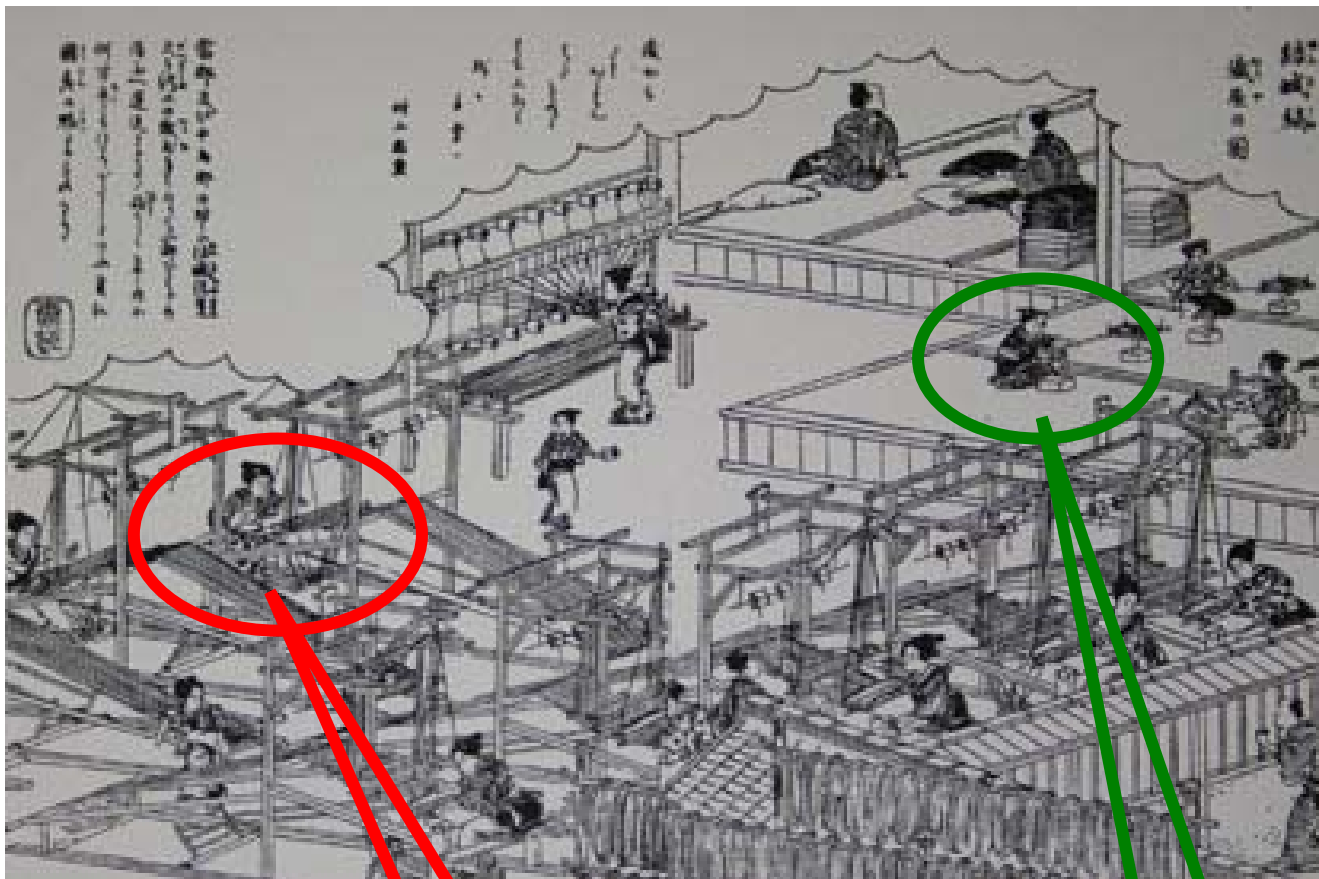
にもとづく近世ヨーロッパの絶対王政



絶対王政の時代の宮廷絵巻

～クリック②:フランス王

ルイ14世(「太陽王」)～



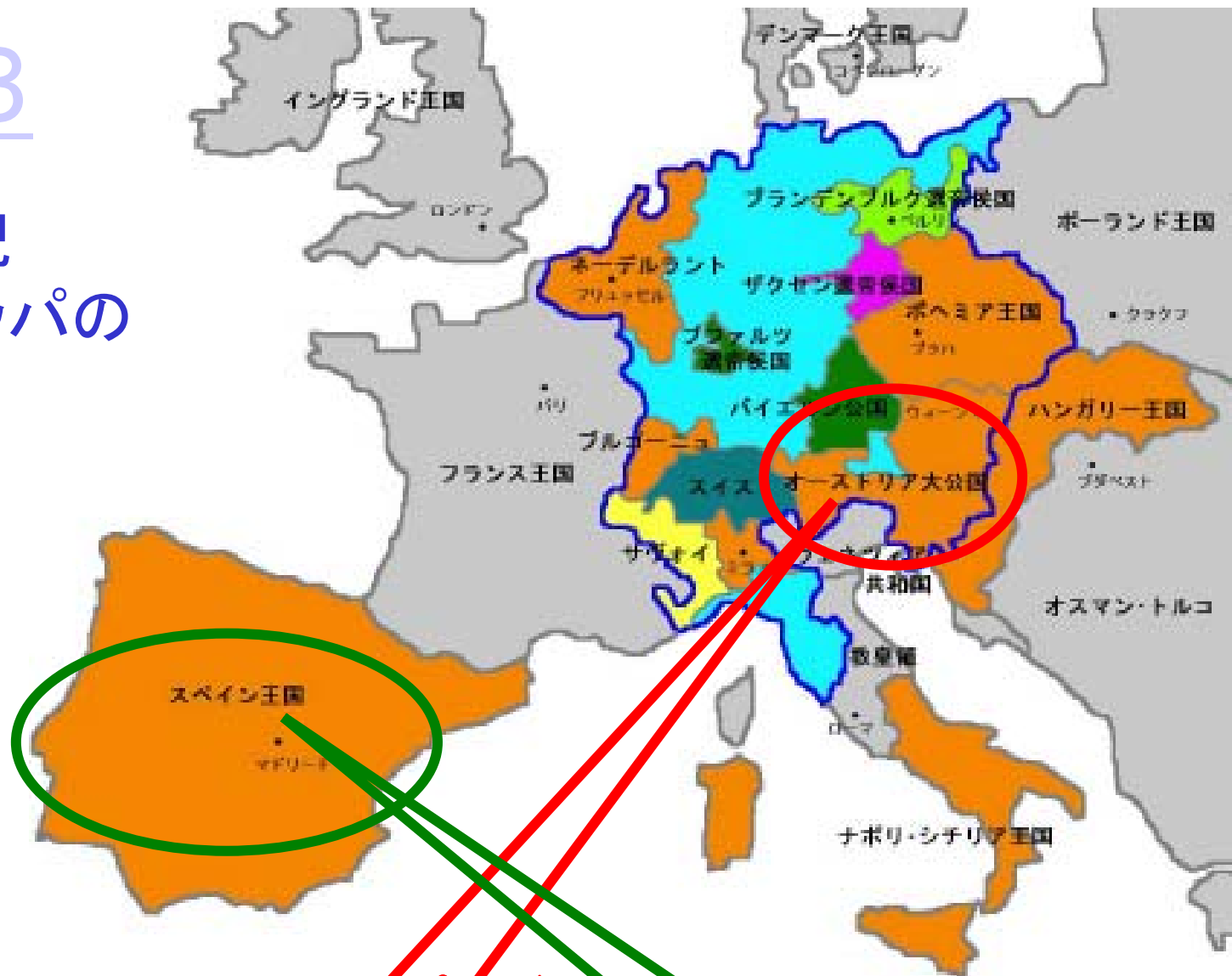
織物の工場制手工業（マニユファクチュア）
「結城紬織屋の図」

分業体制＝クリック①「私、織る人」

クリック②「私、縫う人」

✖ 3

16世紀 ヨーロッパの 地図



オレンジの部分がハプスブルグ家領
 クリック①: 本家のオーストリア、②: 分家のスペイン

クリックで、

「世界の覇者」の寓意としての
表現＝地球儀に注目！

神聖ローマ帝国皇帝としては
カール5世（ルターの宗教改革
と関連）

スペイン王としては
カルロス1世

「世界の覇者としてのカルロス1世
（カール5世）」（ルーベンス筆）





🌀フェリペ2世とメアリ1世

1554年、フェリペ2世は英女王メアリ1世と結婚し、カトリック政策拡大とイギリスの外交に大きな影響を与えた。 ウォバーン=アベイ蔵



1971年に発行された、
レパントの海戦
400年記念切手
(モナコの切手)

Q. オスマン＝トルコの軍船は、どれか分かりますか？

→クリックで、答え



←クリック①: 全盛期スペイン国王**フェリペ2世**の
きらびやかな騎士甲冑の展示



↑クリック②: 3月まで、京都で開催されていた
「**THE ハプスブルク展**」(国立美術館)



↑クリック③:
土産物の
フェリペ2世Tシャツ

※8

16世紀 ヨーロッパの 地図



オレンジの部分がハプスブルク家領
クリックで、北部がオランダとして独立した、ネーデルラント

授業No.82

T.Q.「資本主義の始まりとはどういうものか？」

絶対主義王政のもとで、国王は戦争や宮廷の維持に当てる莫大な資金を得るために市民階級と手を結ぶようになった(重商主義)。これによって問屋制の発生を経て、工場制手工業も広まって資本家が生まれることとなった。この動きが、やがて自由な経済活動を求めた人々が中心になって行われる市民革命へとつながった。